

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法概論		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
中西 康祐 他	C310	knakanishi	水曜 9:00~10:40		
授業の目的・概要	作業療法を学んで行く上での基本的な枠組みを理解し、これからの学習に向けて展望を持つことができるようになることを目的とする。授業は講義に加えて ICF を用いた評価プロセスの体験、車イス操作の体験、作業療法の実践を聴講できる機会を織り交ぜて展開する。				
学習上の助言	作業療法の奥深さに興味を持ち、今後学んでいく他の講義が作業療法の学習につながるようになってほしい。				
教科書	標準作業療法学 専門分野「作業療法学概論」第3版：二木淑子・能登真一 編，医学書院 2016 ICF 国際機能分類 ー国際機能分類改訂版ー 編：障害者福祉研究会 中央法規出版 2008 「2冊指定」				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法を平易な言葉で説明できる。			OT(2)	
②	作業療法にとっての「作業」の意味を説明できる。			OT(2)	
③	作業療法の基本的な考え方と過程を説明できる。			OT(2)	
④	作業療法の歴史的経過を説明できる。			OT(2)	
⑤	今後の学習の見通しをもつ。			OT(1) (2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	作業とは何かを理解する。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
2	生活モデルに基づく作業療法の概略を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
3	EBM と作業療法について学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
4	ICF の基礎を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
5	ICF の活用方法を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
6	生活の困りごとを ICF で整理する。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
7	作業療法の変遷について学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
8	作業療法の教育、倫理、多職種連携について学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
9	作業療法を取り巻く医療福祉制度を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
10	車イスの機能を理解し操作する。 [担当：池谷、浅野、渡辺]	講義・演習	事前学習として関連資料を確認しておく。事後学習は資料等を深める。 1		
11	身体障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：小沢]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		
12	精神障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：池谷]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。 1		

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

13	老年期障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：中西]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1					
14	発達障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：渡辺]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1					
15	地域における作業療法の概略を学ぶ。 [担当：浅野]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	1					
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		100	0	0	0	0	100		
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80		
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				定期試験後に答案用紙を一時返却し、質疑の機会を設ける。			
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書、資料等に基づく問題を出題し、理解度を問う。						
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
担当教員：◎中西康祐、小沢健一、浅野克俊、池谷政直、渡辺俊太郎									
教員の実務経験： 作業療法士として 10 年以上の臨床経験。 実践的授業の内容： 臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。									
演習の授業の際は、車イス操作するため動きやすい服装と靴を着用すること。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。									